

加入者の皆様

来年度以降のがん検診等の見直しにつきまして

ポーラ・オルビスグループ健康保険組合

理事長 小川 浩二

ポーラ・オルビスグループ健康管理センター

統括産業医 川村 雅文

平素より健康保険組合の運営ならびに事業推進にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

健康保険組合では、生活習慣病予防を目的とした「特定健康診査」に加えて、早期発見が重要である「がん検診」に力を入れてきました。当健保組合のがん検診の項目や年齢・受診頻度等は、厚生労働省の示す実施基準よりも手厚い内容にしてきました。しかしながら、がん検診には検査を受けることによるメリット、デメリットがあり、厚生労働省のがん検診のあり方に関する検討会の中で、近年は科学的根拠に基づいた「正しいがん検診」が推奨されてきています。このことを踏まえ、2026 年度より厚生労働省推奨基準（がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針）に沿ったメニューへ変更することいたしますがメニュー全体を一度に変更するのではなく、段階を踏んで行って参ります。

がん検診のメリット・デメリット

メリット

- ・標的とするがんによる死亡を防ぐことができる
- ・早期発見により治療が軽度で済む
- ・「異常なし」と診断されることで安心して生活ができる

デメリット

- ・実際にはがんがないのに、精密検査と判断された場合不安にかられる
- ・検査における放射線被ばく等体への負担が否めない
- ・多くの人が「疑いあり」等の診断で不要な検査を受けることになる

見直し内容について

26 年度以降の見直し内容については別添ご確認下さい。

変更における留意事項等について

- ・胃 X 線、胃カメラ検査の年齢引き上げを行う代わりに、26 年度に限り 39 歳以下の希望者には、ピロリ菌検査を健保負担で実施することとします。26 年度のみの実施となりますことにご留意ください。
- ・27 年度以降、厚労省の指針に合わせ、胃・乳房・子宮検査の頻度・年齢の見直しを予定しています。26 年度は基準年齢以上の方は全員対象となりますので、希望者は受け忘れの無いようご留意ください。また、加入者の皆様には「がん検診に関する正しい知識」をきちんと理解いただきたいという趣旨から、今後がん検診に関する動画配信やセミナーを行う予定であります。「がん検診に関する正しい知識」をご理解いただき、検査に臨んでいただけるよう努めてまいります。
- ・ポーラ化成工業(株)袋井工場、ポーラ流通センターが勤務地である 35 歳以上の被保険者は 26 年度に関して、従来の巡回健診・人間ドックを継続します。27 年度以降ポーラ化成工業(株)とポーラ流通センター勤務を除くすべての被保険者と同様、ネットワーク健診への移行等、検討して参りたいと思います。

健診スケジュールについて

・健診スケジュールにつきましては、現在最終調整中です。決まり次第健保組合 HP、グループ PO ナビ等でご案内いたします。
どうぞよろしくお願ひいたします。

健診に関するお問合せ先

ポーラ・オルビスグループ健康保険組合

pogkenpo@po-holdings.co.jp